

## 自治講習所家畜日誌——昭和七年度

〔表紙〕 昭和七年度五月 家畜日誌 山形県自治講習所

〔表紙裏〕

- 一、農人の根本愛育親切なるべし
- 一、飼養管理は正確鄭寧なるべし
- 一、家畜は農場家族の一員たる事を忘る可らず

〔赤インクで印刷された用紙を使用している。二つ折りの表ページには、月日、天候、氏名、各家畜（乳牛、鮮牛、犢牛、豚、緬羊）の頭数、各飼料（乾草、藁、其他粗飼料、糠、米糠、大豆粕、馬鈴薯、其他濃厚飼料、塩、水）の朝昼晩の量を記し、合計を記入するようになっている。裏ページには、家畜健康状態、厩肥量、搾乳量、所感、特記、注意点、検印欄が設けてあり、ほとんど空白の日もあれば、びっしり書き込まれた日もある。検印欄は全ページ空白である。以下では、月日と当番氏名、家畜健康状態、所感、特記、注意点欄のみ、記入がある場合に書き写す。句読点は適宜補った。〕

5月6日金曜 佐藤廣弥

家畜健康状態：元気

所感：鮮牛二匹富並ヨリ食料品運搬

5月7日土曜 佐藤廣弥

所感：鮮牛2頭富並ヨリ食料品運搬

5月8日日曜 佐藤廣弥

家畜健康状態：鮮牛（犢牛）2頭ホルスタイン1頭午後5時ヨリ腹痛ニテ悩ム。又僕ノ心モ悩ヤム。

特記：乳牛（講習所）午前拾壱時頃農場畜舎ニ安着

5月9日月曜 佐藤廣弥

家畜健康状態：鮮牛（犢牛）2頭、ホルスタイン1頭一日病氣ニテ苦シム。

所感：作〔昨〕日ヨリ犢牛病氣ニテ非常ニ心配致ス。僕ノ不注意ヨリ病氣ニ罹ツタヤウナモノデ、所長先生並ニ諸先生生徒ニ対シテ申訳ナク、コレカラハ層一層注意ヲ忘〔怠〕タラズ大イニ自重致シ、飼養管理ヲ正確鄭寧ニ取扱ヒマス。

特記：犢牛3頭、佐藤獣医ヨリ診断シテ戴イタ処、飼料ノ変化又飲料水ノ不足ニヨリ胃腸ガ悪イトノ事、注射1頭1本ツツ3本（3頭）。

5月10日火曜 佐藤廣弥

家畜健康状態：犢牛3頭今日ハ余程恢復ニ近ク

所感：昨日獣医ヨリ注射シテ戴イタノガ効メガアラハレテ、3頭ナガラ元氣ガ付イテ今日ヨリ好マサウニ食ス。僕モ安心シテ食事ヲ戴ク。

特記：鮮牛（犢牛）1頭佐藤獣医ヨリ拾時半頃去勢シテ戴ク

注意点：飼料を与へる前に充分水を飲ませて後、飼料を与へる方良い。

5月11日水曜 星與衛

家畜健康状態：昨日去勢した鮮牛元氣よし。一般に元氣よし。（鮮牛2頭富並より肥料運搬）

所感：自分はまだ牛に対して経験がないので近づけなくて困つて居るが、佐藤君や大沼君は余程経験があると見えて、平気で仕事をやつて居る。大沼君が君は牛になら〔れ〕ないから近づけないのだと言われたが、僕は何為始めてなのでどうしても近づけない。僕はまだ家畜に対して親切がないからだと思われた。自分が始めてであつても親切に近づけたら牛になれると思ふ。

5月12日木曜 星與衛

家畜健康状態：元氣よし

所感：昨日は牛になれなかつた為に飼料を与へるのが忘れて居つて注意されて畜舎に行つたが、自分から行く様になつた。余程馴れて近づいて仕事をやり得る様になつたのが何んとなく気持がよい。

特記：鮮牛1頭犢牛1頭に運動をさせる。鮮牛2頭富並より肥料運搬。

5月13日金曜 星與衛

家畜健康状態：元気よし

所感：最初はとても牛になれなかつたが、二日目には余程馴れて三日目の今日は自分のものの様々なつた。親切を以つてやつと馴れたと思つて居る内に、はや三日も過ぎて、明日からは次の人だ。終つた後も僕は牛に行きたいものだ。

特記：鮮牛一頭運動させる。鮮牛2頭富並より肥料運搬。

5月14日土曜 長谷部十右エ門

家畜健康状態：元気良シ

所感：私は馬には手をかけた事あるが、牛は生れてから最初であるが、牛に手をかけて見ると馬よりは割合に静かなるものであると云ふ事、第一に自分の頭に思い出された。又牛を扱つかつて見ると、だんだんと馬より扱い良いので面白みも出て来た。

5月15日日曜 長谷部十右エ門

家畜健康状態：一般に元気良シ

所感：鮮牛富並より肥料運搬をす。

5月16日月曜 長谷部十右エ門

家畜健康状態：元気良シ

所感：鮮牛富並より肥料運搬なす。

5月17日火曜 栗野忠弥

家畜健康状態：異状無し、良好

所感：鮮牛2頭富並より肥料運搬、（大根＋馬鈴薯）煮、一釜

5月18日水曜 栗野忠弥

家畜健康状態：異状無し

所感：鮮牛二頭富並より肥料運搬

5月19日木曜 栗野忠弥

家畜健康状態：異状無し

所感：鮮牛二頭富並より肥料運搬、（大根＋馬鈴薯）煮、一釜

5月20日金曜 後藤功

家畜健康状態：異状無し

5月21日土曜 後藤功

家畜健康状態：黒牛、体の具合悪し

所感：鮮牛2頭富並より肥料運搬

5月22日日曜 後藤功

家畜健康状態：異状無し

所感：鮮牛二頭山ノ内ヨリ米及ビ肥料運搬ヲナス。大根及ビ馬鈴薯ノ釜ヲ煮ル。

5月23日月曜 佐藤賢三

家畜健康状態：元気良好

所感：山ノ内に食料運搬。僕は畜舎当〔番〕は此れ迄何度かしたが今年の程簡単な物がなかつた。牛が病気上りの弱々しい体を動かして飼をやる時程は僕の顔を見ながら喜んでおる様だ。牛は人と一緒になり人と牛が一致して物事にあたる。

5月24日火曜 佐藤賢三

家畜健康状態：元気良好

所感：富並迄肥料其ノ他の荷運搬、牛と共に野に出て遊ぶのもよいが、畜舎といふ積〔責〕任が重いから全力を尽して牛の養ひをカヘリヨウ見る。

5月25日水曜 佐藤賢三

家畜健康状態：元気良好

所感：富並迄肥料運搬。注、雨降りの場合は高窓をぬめる事、牛を叮嚀にとりあつかふ。

5月26日木曜 本田総一

家畜健康状態：概シテ健康状態元気良シ

所感：富並行キ中止、自分モ牛扱ヒハ生レテ始メテノ事デアツタ。性質ノ至ツテ温順、最初ニ取扱フ自分ニスラアノ大キナ身、イカメシイ角ヲ有シテモ少シモ恐怖ノ念ヲ抱カシメナイ。可愛ラシイ大キナ動物ダ。

注意点：犢牛ハ時々野外ニ運動セシムル事

5月27日金曜 本田総一

家畜健康状態：一般ニ元気良好、犢牛ハ殊ニ元気好シ

所感：今日ハ昨日佐藤君ニ教ワツタ飼料ノ給与ヲ自分一人デヤツタ。日ニ日ニ親ミガ覺エラレル。給餌ノ時一斉ニ起ツテ乾燥〔草〕ヲ嚙ムヲ眺メル時、実ニ愉快ダツタ。本日午後ヨリ飼料トシテ大根4貫匁、塩1畝玉蜀黍800匁ヲ煮ル。

特記：鮮牛二頭富並ヨリ肥料（石灰）運搬

注意点：今夕富並ヨリ緬羊三頭（牡、牝、仔牛）引揚ゲル。実ニ可愛イラシイ。容姿トソノ啼声ガ。

6〔5〕月28日土曜 本田総一

家畜健康状態：異状無し

所感：三日間ノ畜舎当番ヲ無事終ツテ実ニ氣持ガヨカツタ。

特記：休日ニ付キ富並行中止。

6〔5〕月29日日曜 古川建蔵

家畜健康状態：異常ナシ

所感：乾草ノ中ヨリワラビヲ選ビダスノハ実ニ面当〔倒〕クサイ。シカシワラビガアレバコソ、ワラビ煮ヤツケモノヲ食ベラレルノダ。矢張り一方デヨイト他方デ必ズ悪イモンダ。仔牛ノ徹底的ニ無邪気ナノニハ氣ニ入ツタ。鮮牛二頭富並下山。

特記：子羊ノ去勢ヲヤル。（舟越先生）

注意点：自治講習所カラツレテ来タ牛ガ昼ニ水、実ニ三斗平ゲタ。

五月三十日月曜 古川建蔵

家畜健康状態：異常なし、犢牛とくに元気なり

所感：畜舎当番ハ本当ニ色々ナ点ニオイテ為メニナル。今日ハ羊ヲ山ニハナシタ。オ羊ノ氣ノ曲ツテオルノニハ驚イタ。一人ノ人許リデナク、色々ノ人カラ違ツタ心持デ扱ハレルカラダト思フ。夕方放牧シテオル。子牛ガ人コヒシソウニ鳴イテオルノモ可愛ラシイ。

特記：鼻カンヲホルスタインノオスト鮮牛ノ子ノメスニヤツタ。

注意点：ナシ

五月三十一日火曜 古川建蔵

家畜健康状態：異常ナシ

所感：ナシ

特記：ナシ

注意点：ナシ

6月1日水曜 阿部盛雄

家畜健康状態：全家畜共大元気である。

所感：家畜と親しむことが出来た。家畜は只単に可愛らしいやさしいでなく、実に農業経営上必須で要素であると思ふ故に、家畜を愛すると共に其の飼養上に留意し研究して見たい。

特記：豚二匹鶏一五羽登場せり。

6月2日木曜 阿部盛雄

家畜健康状態：全家畜共大元気

特記：飼料に注意し成長するに従ひて適度の運動と訓練とを要すること。

注意点：鮮牛一頭富並よりタマネギ二俵藪三俵運搬せり。

6月3日金曜 阿部盛雄

家畜健康状態：全家畜共大元気である

特記：鮮牛二頭山の内より米四俵せり

注意点：妊娠中は過激なる運動を避け、飼料は特に注意して良質なるものを与へて下

さい。

6月4日土曜 水沼保

家畜健康状態：全部元気ナリ

所感：ナシ

特記：鮮牛二頭富並ヨリ麦皮運搬ス

注意点：ナシ

6月5日日曜 水沼保

家畜健康状態：元気好シ

所感：ナシ

特記：鮮牛一頭農場水田の代掻をなす

注意点：ナシ

6月6日月曜 水沼保

家畜健康状態：元気ヨシ

所感：ナシ

特記：ナシ

注意点：ナシ

6月7日火曜 佐伯潔

家畜健康状態：病気、乳牛1頭、鮮牛1頭、仔牛2頭、一体に悪し、豚、緬羊元気良し

所感：農場に来てから初めての当番でした。こゝの飼養を全然知らずだったもので、大分へまをやつて佐藤君に済まなかつた。前にやつて居た牛舎とは全然違ふもので、とてもマゴついて困つた。飼料の問題をもつと改良されたらと思つたが運搬の不便さで致し方なし。

注意点：飼料をもう少し良くしたらもつと肥えるのではないかと思ふ。そして濃厚飼料を与へて今迄の三回給餌を二回にした方が良いと思はれる。

6月8日水曜 佐伯潔

家畜健康状態：病気全部回復ス。其ノ他異常ナシ

所感：昨日の様に病気にかゝつた際、専門的の方がいらつしたらあんなに心配する事はなかつたろうに。

注意点：もう少し手入れの順序が明示されて居るならば、いちいち聞かずにテキパキとやれると思ふから、出来るならばどこかに掲示されたい。

6月9日木曜 佐伯潔

家畜健康状態：元気良シ

所感：ナシ

6月10日金曜 佐藤條助

家畜健康状態：健康

所感：ナシ

6月11日 佐藤條助

家畜健康状態：良シ

特記：鮮牛壺頭富並迄下山ス

6月12日 佐藤條助

家畜健康状態：健康

所感：畜舎当番、実に面白き物である。物を与へれば一声に音を立て乍ら食するを見つ、我乍喜は吾全身に溢出る。

6月13日月曜 柴田敏夫

家畜健康状態：健康

所感：私は生れて始めて牛の世話をやつた。なんだか恐ろしい所がある。「これではいかん。一心同体となるべし」てな具合に思ふけれども、なかなか恐ろしきはぬけない。朝の毛をこする時は牛がチヨツト頭を動かしても胸がドキツとする。しかし夕方には余程馴れた。しかし恐ろしきはまだぬけなかつた。かくて今回はすぎて行く。



特記：大豆と馬鈴薯混合して煮る。（大豆五升、馬鈴薯 2000 匁なり）

6月14日火曜 柴田敏夫

家畜健康状態：元気

所感：余程馴れた。恐ろしさはなくなつた。馬鹿に可愛いくなつた。こつちの方で驚いたりすると、かへつて牛の方で驚ろく事を知つた。毛をこする時等、牛が少し位足なんかあげたつて何とも感じなくなつた。始めて牛を遊ばせに行く。牛の奴、なかなかいふ事をきかん。我輩如何に頑張つても糲〔糠〕に釘の有様である。力の入れる時がのみこめない為だ。汗だくだくだつた。みんなの汗によつて出来た貴い燕麦を少し食はせてしまった。諸兄に甚だ相すみません。お許しを乞ふ次第です。

特記：鮮牛一頭富並行き

6月15日水曜 柴田敏夫

所感：今日は実に気持よくやることが出来た。飼料をやるにも毛をこするのも余程ヨ一リヨ一がよくなつた様な気がする。今日も牛を遊ばせる。鼻ギをとしてあつたり、牛だつたので大変らくだつた。大自然のフトコロに抱かれて、時々モーモーと泣きながら草を食つて行く牛の野郎、その手綱をとりながら草に腰かけて共に相語る我等若人、これあたかも一幅の絵だ。なんて考へて非常に愉快だつた。

6月16日木曜 奥山正一

家畜健康状態：普通

所感：普通の家畜より巨大な体軀と二本の角とを見ては殊に気の小さい私は恐しかつた。緬羊の性質が此のごろ非常に悪くなつてきたようだ。緬羊に限らず他の動物も又た人間も其の環境に支配されるものである。罪を犯す者の中には幼少にして父母を失ひ父母の愛を受けず、また世間の人情にむくいられず、そして其の結果罪を犯す者もある。希くは動物を愛されんことを。

特記：糞、稍やはらか

6月17日金曜 奥山正一

所感：AはCに「君、牛に此を食べさせてはいけない」と、BはCに「君、牛にそれ

を食べさせてもよい」と、云はれたCは何れに従った方が良いでせうか。CはA、Bの言に迷つてしまいます。C自身何れがよいか試めせばよいのだが。然し試した時、万一牛が死ぬことがあるかも知れません。何れに従がつた方がよいか。然しA、Bの人物を話さなければ分りましまい。

特記：午後ヨリ佐藤廣弥君ト佐藤建造君ト交ル

6月18日土曜 奥山正一

所感：三日間の家畜当番も終わりました。佐藤君に感謝致します。「表に乳牛何頭に水何斗、何が何貫と記入せねばなりません、記入して何になるでせうか。今まの状態では合計だけで良いと思ふ」（注意点の処）〔「注意点の処」とは、おそらく「所感」でなく「注意点」の欄に記せという意味だろう。〕

特記：犢牛二頭ヲ舎内運動ヲサス（阿部君）、午後ヨリ阿部君応援ニ来ル。

6月19日日曜 江口邦三

家畜健康状態：異状なし

所感：馴れない牛扱ひなれば恐しかつた。然し水を与へ飼料を与へ段々可愛しく成つて来る。

◎乾草をも少し早く拵へば面倒に選ばなくとも良いだろうと思われた。

特記：糞尿を汲み取り堆肥に撒す。午後犢牛二頭運動さす。

注意点：青草だけを与へる時は段々少し宛量を加し馴れらせるんだとの事で乾草 1/2切、青草 1/2を混ぜ与へ、夕飼料より其の量を加した。

6月20日月曜 江口邦三

家畜健康状態：異状なし

所感：今日余程馴れて充分毛もコスツてやる事が出来た。首をコスつてやると彼は気持良いのか、首を長く延べる。動物哉と言へども至誠を持つて管理せば彼等もまた感ずるものなる事を知り得た。

特記：定休日なれ共犢牛3頭を裏山に運動に連れて行つて呉れた人有つた為、軟き草を腹満腹にて帰つて来た故、飼料を少し減じ与へた。

注意点：犢牛、緬羊、豚、山羊等の小家畜を過激な運動せしむると□〔衝？〕心症を

起すこと有るか注意せし高橋先生より注意有った。

6月21日火曜 江口邦三

家畜健康状態：異状なし

所感：今日は犢牛、豚、緬羊の敷草を取換へてやつた気持良さそうに舎内をトコトコ馳廻り実に愛らしい。斯く飼料を与へ管理せは大きくなり、臆て犢牛を産み乳を出し我々の為に成るんだ。我等生活上離るべからざるもので有り親切に管理してやるべきもと深く感じた。鮮牛1頭富並に下山す。

特記：青草を与へた為か水は余り飲まなくなつたので給水を減じた。

注意点：緬羊に濃厚飼料与へルト毛質ヲ悪クスルカラ注意セヨトノ事デシタ。

6月22日水曜 森光男

家畜健康状態：極元気

所感：自分も生れて始めての牛の世話をしたのである。ビクビクと心は振れる。寸時の動揺を見てもビクビクして少しも牛に近よる事が出来なかつた。

6月23日木曜 森光男

家畜健康状態：犢牛1頭病気

所感：今日はヤウヤウの事で牛の毛を掃く事が出来た。足頭を動かすと遠く離れて見て居る。そして静かになると又近よる風にして朝夕両方無事にすました。マツタク心が浮〔沈？〕まらなかつた。

特記：6月24日金曜 森光男

家畜健康状態：健康

所感：嗚呼、すこし牛に接し心を浮〔沈？〕める事が出来たら今日切て終りだ。今日は手伸しく牛の所に居る事も出来た。牛と云ふ動物はあんがい心安すし居る物かの如く感しせしめられた。

6月25日土曜 堀川清一

家畜健康状態：健康

所感：朝ぱらつ〔っぱら〕から雨だ。ひさしぶりの雨だので作物も非常によろこんでおる様で、我が故郷の人々もさながら1粒千金の雨と天に感謝し居る事だろう。僕は此の何日来の雨だが、今日畜舎当番と言ふので、あまりに有難くなかつたが、其れはほんの朝の作業前の感情に過ぎなかつた。いよいよ牛あつかいに取かゝつて見ると、其の愉快的事此の上もない。体をこし〔す〕るにしても、彼等が気持よきさうに、人、畜の差別を超越したるものゝ如くなつて僕にし〔す〕り依る。更に可愛らしいものだ。此の所僕は家畜も家族の一員としてテイネキに取扱ふべきものだと感じさせらる。然しながら僕等の根生〔性〕も1様〔一様〕ではない中に非常に根生の曲つて居るやつがおつて、稍々もすると僕をふまんとするやつが居る。其ん時には僕も感情動物である故に世話やけて其んなやつにエサなんかやりたくない様な気持する。が直を深く之れを考んがへる。嗚、此の鈍なる動物をかくひねくれらしめたる動物は人間が作つたものである、けつして動物本能が斯くなりしめたるものであるまいと思はれる。嗚、自分は人間の余りに我侷なるにおどろく。己が作りし罪を彼等純なる者に着せて人間はすましがほど「この畜生、くせが悪ひ」とか言つて居るが、実の所深く考んがへて見ると人間が「くせ悪いのだ」。人間なんて斯く考んがへると我侷なものだ。僕は今彼等の内の他の悪いやつをにくんだが、夜になつて深く考んがへる時、未だ自分の修養のならざるにはじた。博愛の念の浮きにはじた僕は今畜舎当番の一日目として人間否自分の口のあまりに少なにおどろいた。以上

6月26日日曜 堀川清一

家畜健康状態：元気

所感：今日は2日目なので、牛の精〔性〕質も解つて来た。此の牛は少しくせが悪いと思つたやつは、他の牛より一層愛情をこめて育ぐんでやろと思つて、彼に接するが、一度人間にヘンな感情をいだいたるやつなるが故になかなか我等の真情も通らない。僕も此のクセの悪いやつには持てあました。どうにもならないからリンキヘンに应ずて、彼等が其んな心持であつたなら、此ちらも覚悟をきめてさながらトウサウ気分で、やうやくの事で体をこしる事が出来だ。なんだか其んなやつをにくくてたまらない。よし、人間が彼に此のクセを悪くした動起をあたへたとしても、万人は其んな心持ではないのだ。実に真情を持つて飼育の任あたるのだ。其れもわからず、いさゝかでも僕等に対してけしからんふるまいをするなんて、実に僕はにくらしいやつだと思つた。

然し之れも動物だもの、至し方がないとあきらめてしまへば其れ迄だが、食ふ事になるとすばらしくカシコイものだ。雲苔なんか、カマドの見へない方で調理して居ると、今迄食つて居る飼料なんかには見むきもせずにとゞモウモウと鳴きあがる。実にぬけめがない。其ん所を見ると、もうしこし食慾ばかりでなく精神の方もわかつてもよいはずだ様なものゝ、なかなか其は□かない、やはり畜生とあきらめるより仕方がない。此の日僕は此の牛の意地の悪いヤツに接して感じさせられたのは、精神力のとぼしい感情のにぶい畜生にしても、一度自分が悪道に、或る一寸した動起で這入つた以上は容易で、其の道よりだつし事が出来ないものである様だ。牛にしても□……□万物のレイ長たる人間においてをやだ。一度悪道にそれたら、善道に戻るの容易ならん事であろう。□に□えるべきは或る一寸した動起である。我等は常に修養して□クセ悪□牛のふんできたるワダチをふなまん様、悪の道に□らん様に自己を建設せずんばならざる事を今日の畜舎当番で学ばさせらる。以上

6月27日月曜 堀川清一

家畜健康状態：異状なし

所感：今日は3日目だ。前の2日はいくら自発的にやろうと思つても初めての事なので、受動的他動的に働かなければわからなかつた。従つて牛も他人の物で自分の物の様に感じなかつたが、今日は仕事の順序もわかつたので自発的にやる事が出来、牛も真に自分の物の如く思はれ、愉快に彼等と暮す事が出来た。以上

特記：高峯、谷風等、発情す。

注意点：乾草少ししかなく今後は青草はいかりやりたいものです。

6月28日火曜 山田知行

家畜健康状態：頗ぶる元気。

所感：何故に多くの飼料を与えるか理由御聴したひ。僕はあんなに多くの飼料与える必用だと思ふ。今は仕事に従事して居らない故に。亦た肉付けする必用だ。其れで濃厚飼料与えても刻果少ないと思われる。素人は現今等は青草ばかりにて飼育しておる様に推察される。牛は思つたより温順だ！ 見からに弥栄号質悪い様でしたが安〔案〕外温順であつた。

特記：水の飲まないのに驚いた。

注意点：本日休日なるか故に無断に小牛遊ばせたから逃たのだと思ひ、佐藤大兄も分も多少尋ね歩いた。1口〔一言〕佐藤大兄に語合つて頂きたい。

6月29日水曜 山田知行

家畜健康状態：異状無し

所感：青草刈四、五人に御願したひ。相沢君富並に下山す。発情した高峯であつた故に忙しかつたそうです。相沢君に厩肥運搬して頂いた。

6月30日木曜 山田知行

家畜健康状態：極元気

所感：濃厚飼料腐敗した様な感じあり。朝食後豚の運動場を製した。見るからに丈夫である。此れで飛越える。此れでもと言つて高くしたのには驚いた。昼食後妊牛の運動に高橋先生従事しました。妊牛を北面の角に意〔位〕置せしむ。弥栄牛の花〔鼻〕カン通す時はライオンの声と同じと言つても過言ではなかつた。

7月1日金曜 佐藤良次

家畜健康状態：元気ナリ

所感：動物ハ実ニ可愛キモノデアリマス。大イニ自分ノ心ノ修養トナリマス。恐シイ様ナレド、自分ガ手ヲ掛ケルト実ニ可愛キモノデアルトシミジミト感じタ。

7月2日土曜 佐藤良次

家畜健康状態：昼頃1頭展口役回復ス

所感：牛ノ如ク見テモ嫌イニ見ヘル動物デモ真ニ心ヨリ愛シテヤレバ可愛クナル様ニ、人トノ間デモ嫌キナ人ト思ツテモ良ク交際シテ真心デ逢ヘバ、或ル程度迄ハ必ス同仕、自分ト同仕スル事ハ出来ルト感じ大イニ考ヘサセラレタ。

7月3日日曜 佐藤良次

家畜健康状態：非常ニ丈夫デアル

所感：三日ノ家畜当番モ無事ニ過ギタシ、少シアクマデ我等農場ノ家畜デアル故ニ、大イテ間ノアル時ハ見テ可愛ガツテヤリタイ。ソウシテ丈夫テ家畜ヲ見テ喜ブト共ニ

万一病氣ヲシタル時、早く回復スル様ニイタワツテヤリマセウ。動物ヲ真ニ心カラ愛スル事ノ出来ル人間トノ間モ円満ニ治マル事ト思イマス。

7月4日月曜 相澤知二

家畜健康状態：異状なし

所感：「家畜なければ農業なし」と誰かが云つた。実に然りだ。何の方面から考へても家畜は重要なものだと思ふ。かくして我等は幾分なりと家畜に親しみ得る機会を得た事を喜ぶ。

特記：鮮牛富並より敷運搬す。

注意点：新奉仕号の産室を作る。

7月5日火曜 相澤知二

家畜健康状態：異状なし。

所感：運動場出来たので鮮牛壺頭の外全部開放す。彼等は本年始めて自由の身となつて何程か伸び伸びした事だらう。運動せる様を見る我等も実に愉快であつた。

特記：野外運動の開始

7月6日水曜 相澤知二

家畜健康状態：異状なし。

所感：野外運動より屋内に入れる時は実に弱つた。妊畜壺頭なかなか入らず根気比べした様なものだつた。充分牛とも馳〔馴〕れずに当番も終つた。

7月7日木曜 武田元衛

家畜健康状態：異状なし

7月8日金曜 武田元衛

家畜健康状態：異状なし

7月9日土曜 武田元衛

7月10日 菅野栗太郎

家畜健康状態：異常ナシ

所感：牛が繋ぎを切つて逃げ出した。籠からはなされた小鳥そのものの如く走り廻る。実にのんびりと走る。こうして跳ね回る大きな牧場があつたら束縛のないのんびりした家畜が出来上るだらう。人間も斯くの如しだ。

7月11日 菅野栗太郎

家畜健康状態：健康

所感：畜舎に居るためそう大した事は感じない。だが我等が実際農業を営む時の家畜として何を選ぶべきかを考へさせらる。又如何なる方針にて家畜を飼養するか大いに研究すべきである。

7月12日火曜 菅野栗太郎

家畜健康状態：異常なし

所感：三日間の当番も終つた。こゝに省みては私果して牛その他につき彼等が満足する程の手入れ給餌をしたでせうか。僕はやつた心算ではあるが一生懸命にこれらを行つた時には畜類も喜ぶことだらう。接すれば接する程親み思ふ心出来る。斯くあつてこそ牛は多くの乳を出し羊はよい毛を作る。豚は多くの肉を附けるのだ。こゝに真の家畜の有難さがわかるのだ。

7月13日水曜 奥山信義

家畜健康状態：元気好し

所感：厭口でも嫌でも今日は家畜当番だ。たゞ仕事が嫌ゐではない。要するに牛が恐しいのだ。初めて牛に接するので恐怖心にかられつゝ畜舎にかけ出す佐藤廣弥君が、元気のよい笑顔で、おゝ奥山君か、御苦労様だね……、いいえ、牛に対しては至つて幼稚な私故、何卒御指導を願ふといふて除糞に着手す。おーい佐藤君、この牛は何もしないかと問へば、佐藤君は平気な顔して何もしない大丈夫だと笑つて居るが、私にとつては大事な機械にでもふれる様に……細かくふるへるのをとゞめることは出来なかつた。今度は毛かつきを一頭二頭とやつて見たが何もしない。こりや何もしないわ……、これなら大丈夫だ、牛でも豚でも、否人間でも皆な同じだ。畜生は物こそいわ



ぬが、然し口や目手足の行動によつて怒り喜びを充分知ることが出来る。佐藤君は時々御苦勞御苦勞と言ふてくれる。私は限りなく喜ぶ、又うれしく思ふ。牛も私が餌をやれば牛はうれしく思ふ（動作によりて知ることを得）。これぞ人生界の必然の順序なり。家畜と一心同体となつて取あつかふこと、何より肝要なりと感ず。

7月14日木曜 奥山信義

家畜健康状態：元気旺盛

所感：牛を取扱ふ者は良く牛の心理状態を認識して与料に手入に運動に充分努めなければならぬことを痛切に感じ、又動植物の生命も等しく宇宙の大生命なるが故、之れを丁寧に取扱わなければならない。まして我等農民、否農家に益する牛馬にをいておや。将来農村を經營發展させるには有畜即牛馬の勞力其の他をかりなければならぬ故に、有畜農業を經營するには家畜の餌料飼ひ方に充分詳細なる注意を払ひ今後益々其の工夫研究を考慮しなければならぬ。

特記：鮮牛一頭富並に下山す。堆肥の肥水を蓄める瓶を二つ埋める。

7月15日金曜 奥山信義

家畜健康状態：元気良好

所感：本日で家畜当番も完全に終へた。この三日間に何をどんな所を獲得したか

- (一) それぞれ牛、緬羊、豚の性質を少しく覚へた。
- (二) 餌料給与時間方法も少しく覚へた。
- (三) 牛の手入方法

今後益々畜類が満足し得る様に自己自らが研究し又他よりきよ改良する考へです。

特記：弥栄……発情す。豚殺……會田さん

注意点：畜舎は何時も奇麗に清潔にする様に努めませう。

7月16日土曜 清野本

家畜健康状態：元気良好

所感：今日から畜舎当番を当りましたが、飼料と言ひ、牛の手入と言ひ、一切万事一時も分らない。而し牛と云ひ緬羊と言ひ、自己自分ら満足を与えたい者だ。そして一日一日楽しい生活をさせたい者だ。珠〔殊〕に出産する牛には大いにそうである。そ

して多量に牛乳を喰みたい物だ（鮮牛、富並に荷物を運搬）

特記：弥栄、発情して居る

注意点：牛の身体を奇麗にして居くのは一番良い物だ。何時でも清潔して居る事。

7月17日 清野本

家畜健康状態：元気好し

所感：我等は実社会に出で、多角形農業を行ふにどうしても家畜を養ふにどうしてやるか。自己自から研究しておく必要があると思つて一心に成つて取りかゝつたけれども万〔満〕足には行かなかつた。

特記：弥栄……発情す。

注意点：牛、緬羊、豚等を一定の時間を与えて運動せしむる事

7月18日月曜 清野本

家畜健康状態：元気良し

所感：今日を持つて畜舎当番を得たが三日間を反省して見れば、牛に対して緬羊、豚にも万足をせらむる事が出来なかつた事、心深からあやまります。此れからは一心に働きます。誰〔唯〕、心に残る物、牛、豚、緬羊等の性質を覚えたのみだ。此れからは一心に研究して見たい者だ。

特記：弥栄、発情す。

注意点：牛を運動場に出入する場合に一匹一匹丁寧にやる事。

7月19日火曜 土屋民蔵

家畜健康状態：異常無し

所感：此の頃は雨降り続きで実に憂鬱だ。今朝より当番生れて此の方初めての事故、佐藤君のした指導下に着手した。安〔案〕外温順にて飼料を与へる時は頭を伸ばして待て居る。早く与へようと努力する乳牛は事〔殊〕に可愛い。1〔一〕日千秋の思ひで待つて居る。お互ひに家畜を愛ませう。

特記：鮮牛1頭富並より皴運搬す。

7月20日水曜 土屋民蔵

家畜健康状態：異状無し

所感：今日も雨降りだ。僕は昨夜より腹痛を起し、今日は休もうと思つたが、大した事も無い故、何糞と元気を出して取掛た。朝昼の飯も食はず茶話会に出ても面白く無い。午後は休もうと思つた。だが今日の日もやり通した。此れも佐藤君の親切と深く感謝す。

7月21日木曜 土屋民蔵

家畜健康状態：異状無し

所感：立ち〔質〕の悪い腹痛で持続性がある為めか今日も相変わらず痛みがとまらないので、身体を休めることにした。家畜当番も中余〔途〕で止めた事は実に残念である。だが自分が不運のなす所ろ、今後は注意を要する。古瀬君に交つていたゞいた。厚く御礼申上候。

特記：相沢君富並より米2俵運搬す

7月22日金曜 西山進

家畜健康状態：異状無し

所感：初めての当番故、少々おそろしい様な気分覆れて居つたが、時間の過ぎるにしたがつて馴れ来り、面白くなつて来た。何んでも心からなる物に対する言語動作の行動はすべて物をあたゝかになごやかなる平和なる空気に充ち物なるかを教えられた。

特記：牛尿くみをする一日半をついやす

7月23日土曜 西山進

家畜健康状態：異状無し

所感：今日は第二日目だ。昨日の行事をもう一度思出しつつ、勇しく行動を開始する。やすやすと仕事に進む。そして規定行事はすべて頭に入れれば、それを通しての己れの姿の反省をする。何から何まで牛に教えられる点が多くある。

特記：相澤君富並行、米2俵をつけて来る

7月24日日曜 西山進

家畜健康状態：異状無し

所感：今日は最後だ。一番レベルがつく。牛が運ぶ。何んと愉快だ。牛も今日は異の外なつかしい。90日に3日間の当番もこんどはいつ廻つて来るかわからない。牛よ何か俺の異さらの行動を見つけて今次の当番まで忘れるな。

7月25日月曜 犬飼訪吉

家畜健康状態：異状なし

所感：農場生活中初めての家畜当番だ。朝作業に畜舎に行ったものゝ、何か何だかさっぱりわからない。佐藤君と一緒にやったがなかなか面倒だ。自分の家でも牛を飼った事あったが、幼ない時から育てた故か、恐しくなかったが、農場のは馬鹿に大きいので恐ろしくて仕様ない。時々逃廻るのが何より困る。其の時はすぐ佐藤君を呼ぶ。此れもみな馴れぬせいだと思つて居る。

7月26日火曜 犬飼訪吉

家畜健康状態：異状なし

7月27日水曜 犬飼訪吉

家畜健康状態：異状なし

7月28日木曜 西田貞典

家畜健康状態：異状なし

所感：今日は初めての農場家畜当番。不断〔普段〕不注意の私は一から百までも皆佐藤君に訪〔尋〕ねなければならぬ。五月蠅き事甚だしい。あの悪息には一本引いた形勢だ。而し馴れ次第だ。仕事の順序も馴れ次第。余程手間を除く事が出来る。すべて物事は然り。礼拝後眠い目で雑草給与も余程修業率が高いと痛感す。

特記：鮮牛高峯富並から食糧運搬。

注意点：雑草中に毒草（主にあくしやうぎ）が混じつて居りますから御注意して下さい。

7月29日金曜 西田貞典

家畜健康状態：健康率百パーセント

所感：なし

特記：新奉仕号及び春風号等、出産部屋を管野君、佐藤君三名で製造。糞尿を堆肥堆積上に運搬散布。

7月30日土曜 西田貞典

家畜健康状態：変なし。

所感：愈々三日間の畜舎当番も無事済んだ。之も修業なりと思へは自ら三日間も長き感じありき。以上。

特記：午後佐藤廣弥君が牛糞尿を堆肥積上散布致す。

注意点：なし。

七月卅一日日曜 高橋勇志

家畜健康状態：頗る元気なり。

所感：寝呆気〔惚け〕目を擦り乍らスタートをする。何せ養鶏とは畑違ひの仕事である。うん臭い、じろり亦他動物に一寸見られぬ余けいな道具所有の牛君だ。両者共おつかないしなものだ。眠〔眼〕は殊に鋭い。御蔭様でさしもの寝呆気もブルツト武者振ひされた故覚まされざるを得ない。修業のし所の糞搔きからほっばしめる。佐藤君と二人だ。決する所は口歴からはじめる。どうした理由か畜舎係は庄内人がやる様だと、去年だって左様であると。さうかも知れない。だとすれば僕等鶏舎係は村山人である模様だ。ざっとこんな工合に談合して少しも要領の分らない僕も、牛といふものゝ、今流行語でいふならば「牛の認識を保」といふ筆法だ。つまり牛と少し仲間入りをした安〔塩〕梅。でも奇麗にしてやったと思ふ間もあらず、片っ端から瀬戸屋の皿大売出し宜敷とハ所きらばすは出物腫物ほど思はせる。まさか怒るに怒られぬ場面だ。良くもこんな短い手綱に毎日日を送られるものだ。だが故にこそ外遊びも良いと言ふ所。定休日ではあるが牛君との修養お面白くして一日を送つた。

特記：昨日〔昨年？〕春風月満ちて産み落した男の子は天晴といふ。予定日なりしも何の間違ひか、今夕に至るも何等異状はないのである。

注意点：無し。

八月一日月曜 高橋勇志

家畜健康状態：皆元気なり。

所感：面白い奴である。昨日からやったばかりの係ではあるが、よほど親密になったものと見えて、掃除をやって呉れる牛君の方から場所を丁度良い工合に避けて呉れる様になった。可愛い奴だと思ふて咽喉を撫てゝやるとツウーとして、さも気持ち良い様だ。犢牛はとても可愛いものだ。僕の扱ひ手としては丁度いゝ安梅だ。大きい方は未だどうしても恐い様だ。威圧されて居るのかもしれない。もう少し親切にやれば一心同体に漕ぎつけるであらう。高峯君は勇敢にも今朝の雨を物ともせず富並に行かれた。途中雨でと案じて居たが、夕早く元気で帰ったので嬉しい。御苦労とて少し御馳走を多くやったが食ふともしない。仲間が多い目の前での気前か、亦は疲れた故であらうか。犢牛はそこに行くとても無邪気だ。自分の分前をも食ってしまったて人のものまでも進〔侵〕略するのだ。

特記：本日高峯富並に行く。白米2俵運搬し来る。(引率者) 管野栗太郎君、春風どうしたものか何等分婉の気はひなし。用意周到なれども待ち呆うけ。

八月二日火曜 高橋勇志

家畜健康状態：呑気随らも元気良し

所感：農場持有語、自分の分担として畜舎当番も晴天に恵まれた三日間で了りを告げた。鶏仲間の僕としては不安の念にかられて着手したのだったが、佐藤君の指導宜敷きを得。亦分担遂行の真面目として誠をこめてやった果非〔甲斐〕あって、無事に一心同体の修業の一片を了えたわけ。清潔、親切、信条、正確の安梅で至通ほした時は気持はいゝ。兎も角自分の御飯を戴く前に牛君に飼料を給与する様な経験も有為だ。こゝらは鶏連にも是非必要であつた。じろりと流し目も今日あたりでは愛くるはしい程いとしくなった。一つ定休日には引き連れて山遊びを佐藤君に注文した位だ。春風号も弥栄の表現を僕の当番中に実現して呉れる筈ではあつたが、とうとう産をしない。最後に至誠をこめてやった仲良し牛君、僅かに三日間のみで別れる。今後とも牛君よ、当番者に懐し給え。亦当番者も最善を尽して下さい。(了)

特記：午前中から佐藤君と二人で豚の外柵を徹底的に拵らえた。正に炎熱の直下にての活動汗だくだくであつた。幸に卒倒を免れた。

八月三日水曜 古川森彌

家畜健康状態：元気好シ、◎新奉仕号（鮮牛）午後七時半、子雌産む。新奉仕号ノ分娩予定日ハ丁度本日ナリ。幸、玉ノ如き子雌牛を安産ス。之弥栄ナリ。

所感：登場以来始メテノ畜舎当番ナリ。而シテ此ノ当番ハ将来農業ニタズサハル吾等ニトツテ大切ナルモノト思フ。此ノ際大イニ働キ研究セネバナラヌト思ヒ、其ノ覚悟デ牛糞ヲ身ニツケ、牛ヲ友トシテ働ク。愉快ナリ。此午後七時半新奉仕号（鮮牛）雌牛ヲ安産ス。我等ノ友タル牛ニ又一匹弥栄サレタルコトハ嬉シイ。我等ハ大イニ親切ニ大切ニ育シヤウ。

特記：午后、佐藤君、牛糞便ヲ堆肥ニ散布ス。

注意点：モット清潔タルヲ望ム。又、各設備完全タランコトヲ望ム。

八月四日木曜 古川森彌

家畜健康状態：皆元気好く草をはむ。新奉仕号の子元気なり。乳をすう。夕方舎内に於て蚊払ひをやる。夜牛の状態を見るに昨夜よりもよろしく見えたり。

所感：昨夜生れし新奉仕号の子は今朝見るに奇麗になり、歩み、乳さへすふて居る。何んと元気なものだらう。親牛は如何に可愛らさうに身体をなめて居った。母性愛をまのあたり見て自づと親切心を生じ、大切にしている。今朝畜舎へ行き戸をあけやうと思へば、大変な蚊なり。我等は夜三四匹ノ蚊さへ苦痛を感ず。こんな蚊ではさぞ苦しいことゝ思ひ、佐藤君と共に蚊払ひをやる大変効能あり。こうして少しでも彼等牛に対して親切に大切にしたいと思ふ。

特記：夕方蚊払ひをやる（青草にてえ〔い〕ぶす）

八月五日金曜 古川森彌

家畜健康状態：新奉仕号の子、益々元気好く、其他元気なり。ホルスタイン種、春風号、午前五時雌牛分娩す。

所感：春風号分娩予定日、八日三日、然るに未だ分娩せぬと心配して居つたのに、無事今朝午前五時に安産す。いよいよ弥栄を發揮す。惜しいかな、雌牛なり。昨日は今夜産むと思ひ佐藤君と敷藁をす〔し〕いてやる。今朝になつて昨日準備して居つたこと満足す。子二匹多くなり、いよいよ責任重きを感じ、一生懸命働く。幸無事終つたこと感謝す。

注意点：産室もっと完全であられんことを希望す

八月6日土曜 古瀬吉三

家畜健康状態：皆元気良好である。2匹の子牛も元気である。

所感：今日から家畜当番をがあたりました。牛の手入と言〔言い〕且又食料の分量とい〔言い〕何1つ分からぬ僕は、皆佐藤君に教られて、今日初めて牛の与るべき食物の量が分りました。中の手入は実に難り知べし。

特記：今晚蚊を殺しました。青草（をエブシテ）

八月7日日曜 古瀬吉蔵

家畜健康状態：異状ナシ

所感：家畜当番は二日目である。1日□かれた僕はあの小牛の為に慰をみられ□□れます。□、母牛の母性愛、況や人間に於ておや。

八月8日月曜 古瀬吉三

家畜健康状態：異状ナシ

所感：三日の当番も今日で終わりました。実に家畜の取扱は難儀でありましたが、佐藤君の御手伝によつて三日の当番も異状なく終つた。自分は牛の取扱は少々解りました。有難感謝致します。

特記：蚊の退治をいたしました。さぞ牛は眠つたでせう。

注意点：ナシ

8月9日火曜 小野弘一

家畜健康状態：松風、昨日の夕方子を産みし為か、未だにからだ衰弱して居るやうに見受けらる。それから松風（ホルスタイン種）の子は後足のぐあひ悪い様である。その他の牛はすべて元気良し。

所感：当道場に来てより始めての家畜当番だったので、否、生れて始めての家畜当番だったので、何が何やらさっぱりわからず、先づ畜舎に書いてある掟を見て仕事した。方法やその他の事すべては佐藤廣弥君にていねいに教へられて、当番一日目もなんの事なくすごして床につく時はゆつくりしてあつた。僕も家に帰つたら牛馬豚、緬羊、兎、すべての動物を詞〔飼〕ってやらうと思つた。



特記：蚊の退治をした（青草をえぶしたのです）。畜舎の中にはとても入って居る事出来なかつた。

注意点：畜舎を清潔に致ませう。動物を愛育致ませう。

8月10日水曜 小野弘一

家畜健康状態：松風、昨日より少々元気よし。松風の子、足を痛む。新奉仕号（鮮牛）下痢する。他の牛は皆元気よし。

特記：蚊を退治せしこと、昨夕方と同じ。

8月11日木曜 小野弘一

家畜健康状態：松風及び松風の子、昨日に比して少々元気よし。新奉仕号が下痢と思つて居つたので佐藤廣弥君にたづねるとそうではない、常にそうなのだそうです。他すこぶる元気よし。

特記：蚊退治す。